



日本の「宝島」あまくさ

ほんど

まちづくり協議会だより

「人」に投資を

“良かれと思って言ってること、やることが地域を衰退させているかも？”

“地域のお偉いさんの「地域を想って」の発言が地域を衰退させる？”

昨年末に日南市油津を訪れた時の、元日南市マーケティング専門官、田鹿倫基さんの言葉です。“地域のデータを読み解き、思い込みのまちづくりからの脱却へ”という話のなかで、「地域の活性化がしばしば『結果の目的化』になっている。地域に住む人達、関わる人達が活性化することで地域が活性化する。なのに、結果であるはずの活性化を目的として取り組んでしまう。そうすると、小手先のイベントなどで賑わいを求めてしまう。本来は人の幸せが先にあって、人が幸せになる手段として地域があるはず。」また、まちの活性化について大切なのは、「昔の賑わいを再現するのではなく、時代に合わせた役割をもたせること」と語られました。この話を聞いて衝撃を受けました。発想を変え、別の切り口からの地域づくりを考えなければ、と思いを新たにしました。いつの時代も生き残るのは、強いものではなく変化するものです。

「神奈川県旧藤野町では、行政主導ではなく民間主導による様々な活動が成果をあげている。合併により行政が遠くなり、あまりあてにならなくなった。それならば自分達でやってやろうじゃないかという機運が広がっている。それは人が人を呼び、さらに人を呼ぶというプラスの連鎖を起こす。地域の中に人と人をつなぐ人がたくさんいることが要因で、人と人をつなぐ人達をさらに結び付ける人物の存在が大きい。」(相川俊英著『奇跡の村』) そのような人が地域にいるかないかで地域は大きく変わります。

これまで私も色々な地域を訪ね、そこで様々な人との出会いがありました。地域づくりは「人」につきまます。もっと「人」に投資すべきだとの思いを強くしています。

地域の主役は一人一人の住民であり、地域の活性化はその地域に住む人達の総力にかかっているとと言えます。そして地域の力を引き出し高めていくための環境整備が公務員の役割ではないでしょうか。

本渡まちづくり協議会では、次の天草を担う未来の大人達を育てるために、未来の大人応援プロジェクトに取り組んでいます。天草拓心高校SBP部の生徒達は、色々な活動を通して日に日に成長しています。校長先生の話によると、この生徒達の活動が他の生徒達にもいい刺激を与えているとのことでした。一步一步小さな歩みですが、これからも続けていきたいと思っていますので皆様のさらなるご支援をよろしくお願いたします。



本渡まちづくり協議会
会長 中川竹治

Vol. 32

令和6(2024)年4月1日号

目次

- 会長あいさつ……………P1
- 令和5年度事業実績報告……………P2~4
- 本渡まちづくり協議会委員募集……………P3
- ふるさと応援寄附金のお礼……………P5
- 各地区の話題……………P6~7
- 市内高校のSBP活動紹介など……………P8

ほんどのいま

令和6年3月1日現在
(令和5.9.1との比較)

【本渡南】	男……………3,635人 (- 5)
	女……………4,163人 (+ 5)
	計……………7,798人 (+ 0)
	世帯数……………3,711 (+ 6)
	高齢化率……………35.1%
【本渡北】	男……………5,414人 (+ 12)
	女……………5,941人 (- 4)
	計……………11,355人 (+ 8)
	世帯数……………5,259 (+ 25)
	高齢化率……………24.8%
【亀場】	男……………2,080人 (- 8)
	女……………2,329人 (- 10)
	計……………4,409人 (- 18)
	世帯数……………1,889 (- 17)
	高齢化率……………26.1%
【伊宇土】	男……………268人 (- 12)
	女……………280人 (- 10)
	計……………548人 (- 22)
	世帯数……………260 (- 2)
	高齢化率……………51.1%
【志柿】	男……………1,165人 (- 6)
	女……………1,364人 (- 5)
	計……………2,529人 (- 11)
	世帯数……………1,181 (- 5)
	高齢化率……………38.6%
【下浦】	男……………742人 (- 9)
	女……………830人 (- 21)
	計……………1,572人 (- 30)
	世帯数……………742 (- 1)
	高齢化率……………48.7%
【楠浦】	男……………1,084人 (- 6)
	女……………1,168人 (- 9)
	計……………2,252人 (- 15)
	世帯数……………1,003 (+ 4)
	高齢化率……………41.0%
【本町】	男……………769人 (- 8)
	女……………781人 (- 6)
	計……………1,550人 (- 14)
	世帯数……………827 (+ 8)
	高齢化率……………44.4%
【佐伊津】	男……………1,428人 (+ 0)
	女……………1,623人 (+ 11)
	計……………3,051人 (+ 11)
	世帯数……………1,432 (+ 1)
	高齢化率……………39.0%
【宮地岳】	男……………212人 (- 6)
	女……………220人 (- 6)
	計……………432人 (- 12)
	世帯数……………225 (- 7)
	高齢化率……………56.5%
【合計】	男……………16,797人 (- 48)
	女……………18,699人 (- 55)
	計……………35,496人 (-103)
	世帯数……………16,529 (+ 12)
	高齢化率……………33.2%

【編集・発行】
本渡まちづくり協議会

【事務局】
天草市 地域振興部
まちづくり支援課
〒863-8631
熊本県天草市東浜町8番1号
TEL 0969-32-6661
FAX 0969-24-2744
E-mail machidukuri@city.amakusa.lg.jp



市内高校のSBP活動紹介

～天草拓心高校 SBP部～

SBP部が今年度取り組んできた活動について紹介いたします。
10月29日、天草市社会福祉協議会が主催する“あまくさ福祉まつり”に参加しました。

今回、イベント中に開催された講演会の講師を、SBP活動のアドバイザーとしてご支援をいただいている熊本大学の徳野名誉教授が務められたこともあり、SBP部も登壇して日々の取り組み内容を発表しました。

また、講演会の後には取り組みの一つである“あまりん焼き”（オリジナルたい焼き）の販売も行い、ご来場いただいた方々に自分達の活動をPRしました。



▲講演会への登壇やあまりん焼きを販売する様子▲

12月20日、天草拓心高校SBP部が本渡北小学校に先生として招かれ、スイーツや郷土料理といったテーマに沿って、“あまりん焼き”や“天草晩柑を使った商品開発”、“防災用非常食（せんだご汁）”の取り組みを伝える授業を行いました。

興味を持ってもらうため、クイズを多く出題するなどの工夫をしながら進められた授業に、子ども達は大いに盛り上がりました。最初は緊張していたSBP部員でしたが、その様子を感じて落ち着いたのか、最後までしっかり先生としての責務を果たすことができました。授業を行う側にとっても受ける側にとっても、特別な時間になったのではないのでしょうか。



▲授業を行うSBP部員の様子▲

あまりん焼きの出店を希望されるイベントなどがございましたら、本渡まちづくり協議会事務局までご連絡ください。天草拓心高校SBP部にお繋ぎいたします。



▲稲留公民館で講義の様子



▲イベントが行われたお寺の説明

研修では、当時の活動やイベントの様子についてお話を伺いました。地域課題をはじめ人材育成などの課題が、どこの地域にもあるが、「何のためにやっているかのアナウンスをしていくことが大事」と話されているのが印象的でした。

須恵町では「ふれあいレインボー」を視察しました。ふれあいレインボーは、人口約8千人のコミュニティで、コミュニティ活動が活発に行われていました。イベントの内容を今の時代に合ったものに見直すほか、若手のアイデアを取り入れ、コロナ禍でも活動を継続させるなど、様々な工夫で地域を活気づけられて



▲ふれあいレインボーで講義の様子



▲施設内を見学

※令和5年度 事業実績一覧は次ページのとおり

「協議会だより発行」事業は、本協議会の活動や各地区のまちづくりに関する様々な情報を広く発信することを目的として、年2回本渡地域の全世帯へ広報誌の配布を行う事業です。

多くの地域住民の皆さんのまちづくり活動に対する理解や、まちづくり活動への積極的な参画に向けて啓発を行っています。

【1回目】令和5年10月1日号（Vol.31）発行
 【2回目】令和6年4月1日号（Vol.32）発行
 【配布】本渡地域の全世帯

「協議会だより発行」事業は、本協議会の活動や各地区のまちづくりに関する様々な情報を広く発信することを目的として、年2回本渡地域の全世帯へ広報誌の配布を行う事業です。

多くの地域住民の皆さんのまちづくり活動に対する理解や、まちづくり活動への積極的な参画に向けて啓発を行っています。

本渡まちづくり協議会の委員を募集します

本渡まちづくり協議会は、本渡地域内の各地区振興会の代表者、公共的団体等の代表者や公募委員など20人の委員で組織されており、まちづくりに係る提案やまちづくり事業の企画・立案・実施をはじめ、住民主体のまちづくりを推進する役割を担うものです。

本年6月末の任期満了に伴い、以下のとおり協議会の委員を募集いたしますので、まちづくりに対する熱い思いをお持ちの方のご応募をお待ちしております。

※応募者多数の場合は、本渡まちづくり協議会で選考を行います。

【募集定員】 2人程度（任期2年）

【応募資格】 旧本渡市内に住所を有する人

【応募期限】 令和6年4月26日（金）必着

【応募方法】 住所、氏名、年齢、職業、連絡先、応募動機をご記入のうえ、以下までご郵送またはご持参ください（応募用紙は任意）。

〒863-8631 天草市東浜町8番1号
 天草市まちづくり支援課内
 本渡まちづくり協議会事務局
 TEL 32-6661



令和5年度 事業実績報告

本渡まちづくり協議会では、「まちづくりは、人づくり」をテーマに、地域を担う人材の育成や地域の活性化に向けて、「まちづくり研修事業」や「未来の大人応援プロジェクト（SBP）事業」などを実施しました。

まちづくり研修事業

委員研修

【期 日】 令和5年12月7日～8日

【場 所】 鹿児島県鹿屋市、宮崎県日南市

【参加者】 13人

委員研修は、まちづくりを推進する協議会委員の育成と特色あるまちづくり活動の展開を推進することを目的として研修を行う事業です。

本年度は、令和5年12月7日と8日で、先進的な取り組みをされている地域団体の視察を行いました。

鹿屋市では柳谷集落自治公民館（通称「やねだん」）を視察。やねだんとは、鹿屋市串良町にある小さな集落ですが、住民総出で地域づくりに取り組み、サツマイモの栽培をはじめ、オリジナル焼酎などの商品開発、土着菌の活用、自然薯栽培などにより自主財源を確保し、行政に頼らないまちづくりを実現されています。

研修では、館長の豊重哲郎さんに、やねだんの歴史や現在の活動についてお話を伺いました。「地域づくりに大切なのは、人」。他人を主役にしてアイデアや能力を引き出してやるのが大切、「やる気を起こせば必ず奇跡がおきる」と話されていたのが印象的でした。



▲活動案内パネル館



▲柳谷自治公民館での講義

宮崎県日南市では「油津商店街」を訪問しました。空き店舗や未利用地の増加、歩行者通行量の減少等により衰退傾向にあったシャッター商店街をよみがえらせようと活性化策に取り組みされた結果、IT企業、宿泊施設、飲食店など30店舗以上が入居し、現代のニーズに合った新たな賑わいを見せています。

いきました。また、SNSをうまく活用することでイベントへの来場者も増え、令和5年度に行われた「夏フェス」では約1万人が来場されたとのことでした。中でも、「今後にも常に事業の見直しを行っていき、更なる地域活性化を目指す」と話されていたのが印象的でした。



▲昔ながらの雰囲気を残す喫茶店「ABURATSU COFFEE」

古い店舗をリノベーションした「多世代交流モール」には、絵本コーナー、キッズスペース、有料のレンタルスペースも充実しており、まちの情報発信の拠点として活用されています。また古くからある喫茶店をレトロで落ち着いた雰囲気そのままに再生

振興会職員研修

【期 日】 令和6年1月11日～12日

【場 所】 福岡県糸島市、福岡県糟屋郡須恵町

【参加者】 9人

振興会職員研修は、まちづくりを推進する事務局職員の育成と特色あるまちづくり活動の展開を推進することを目的として研修を行う事業です。

本年度は、令和6年1月11日と12日で、先進的な取り組みをされている地域団体の視察を行いました。

糸島市では「稲留行政区」を視察しました。稲留行政区は約150世帯が住む地域で、竹の耕作放棄地が多いという地域課題があり、解決のために九州大学院生と共同で竹を用いたイベントが行われていました。

善意の寄附ありがとうございました (敬称略)

〔令和5年9月～令和6年2月 本渡まちづくり協議会受領分〕

ふるさと応援寄附金として

福田 良治 (東京都)	大城美奈子 (沖縄県)	平井 雄太 (福岡県)	後藤 繁一 (大阪府)
田中 識美 (愛知県)	伊集院輝一 (東京都)	稲垣昭二郎 (神奈川県)	川端 美咲 (埼玉県)
川手 勇輝 (長野県)	伊藤 唯衣 (愛知県)	石内 千絵 (熊本県)	佐伯 和音 (埼玉県)
高木 慶 (東京都)	久住 智幸 (神奈川県)	平山 陽子 (神奈川県)	野中 英生 (東京都)
森 健一 (神奈川県)	荒木 俊一 (長野県)	奥山 高起 (大阪府)	若山 晴香 (兵庫県)
吉田 修郎 (栃木県)	平田 八宏 (熊本県)	橋本 英行 (沖縄県)	林田 亮 (広島県)
山下香菜子 (東京都)	益田 大也 (熊本県)	松下 敏尚 (大阪府)	若田 菜広 (福岡県)
大仁田昌平 (神奈川県)	横山加奈子 (京都府)	大橋 航 (東京都)	水上 奥人 (東京都)
平野 元康 (神奈川県)	杉本 壮平 (岡山県)	巖 震澤 (東京都)	田尻 和也 (福岡県)
中田広海流 (千葉県)	岡村 和也 (神奈川県)	西村 実佳 (熊本県)	金丸 和幸 (埼玉県)
村上 純一 (福岡県)	株野 順博 (愛知県)	太田 美佳 (長崎県)	矢田 和也 (三重県)
本宮由起久 (北海道)	伊藤 俊弘 (北海道)	西野 健二 (福岡県)	木村 努 (沖縄県)
平岡 京子 (福岡県)	中村 純 (大阪府)	小林 憲一 (滋賀県)	桜井 高志 (東京都)
下村 和 (北海道)	杉口由記子 (東京都)	森山 紘貴 (埼玉県)	足立 聖子 (京都府)
佐々木ひとみ (神奈川県)	矢野 雅夫 (北海道)	藤田 富子 (愛知県)	三井 好古 (福岡県)
神崎 夏子 (大阪府)	由井 希佳 (愛知県)	前田 智恵 (東京都)	平田 和也 (千葉県)
島田 英周 (東京都)	湯川 明弘 (大阪府)	富田 靖司 (東京都)	平井 智大 (大阪府)
柴田 優子 (大阪府)	近藤千代子 (新潟県)	下久保 剛 (大阪府)	福島美知恵 (東京都)
斎藤 貴史 (東京都)	和田 孝之 (東京都)	米村 典子 (熊本県)	鳥居正友紀 (福岡県)
橋本 了 (奈良県)	金子 絵美 (埼玉県)	白田裕一郎 (岐阜県)	原田 繁亀 (兵庫県)
澤ノ井和之 (愛知県)	矢島 茂人 (東京都)	橋口 光徳 (熊本県)	永尾 一彦 (千葉県)
原田 慶子 (東京都)	貫野 哲治 (大阪府)		

匿名希望の方を含め、**340名**の方に寄附をいただきまして、ありがとうございます。

「ふるさと納税」で、天草本渡のまちづくりを応援してください。応援したいまちづくり協議会または地区振興会を指定できます。市外にお住まいのお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ご周知くださいますようお願いいたします。

令和5年度 事業実績一覧

実施期日・期間	「事業名」(実施場所)	参加者
	事業内容	
令和5年4月27日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(牛深高校)	約130人
	牛深高校の全校生徒を対象とした岸川政之氏の講演会	
	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草拓心高校)	18人
	岸川政之氏と天草拓心高校 SBP 部との意見交換	
令和5年5月12日～15日	「まちづくり人材育成」事業 (鹿児島県鹿屋市)	1人
	第33回やねだん故郷創生塾への派遣	
令和5年6月7日	「第1回 まちづくり協議会」会議 (天草市役所)	24人
	令和4年度 事業実績・収支決算の報告・承認 令和5年度 事業計画・収支予算の審議・決定	
令和5年6月18日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(球磨郡あさぎり町)	19人
	天草拓心高校 SBP 部が株式会社あさぎり・フレッシュフーズを訪問 防災用非常食の改良に係る意見交換	
令和5年7月29日～30日 8月6日、19日～20日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草拓心高校・皇學館大学)	23人
	ハイブリッド開催 (オンライン+現地) となった「第8回全国高校生 SBP 交流フェア」へ参加 天草拓心高校 SBP 部の取り組み発表やワークショップなどを通して参加校と交流	
令和5年9月13日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草拓心高校)	16人
	岸川政之氏と天草拓心高校 SBP 部との意見交換	
令和5年9月14日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(牛深高校)	22人
	岸川政之氏と第8回全国高校生 SBP 交流フェアに参加した生徒などとの意見交換	
令和5年10月1日	「Vol.31 まちづくり協議会だより発行」事業 (本渡地域配布)	-
	令和5年度 事業計画・収支予算、第8回全国高校生 SBP 交流フェア内容紹介、ふるさと応援寄附金のお礼などについて掲載	
令和5年12月7日～8日	「まちづくり研修 (委員研修)」事業 (鹿児島県・宮崎県)	13人
	鹿児島県鹿屋市：柳谷集落自治公民館 宮崎県日南市：油津商店街	
令和6年1月11日～12日	「まちづくり研修 (地区振興会職員研修)」事業 (福岡県)	9人
	福岡県糸島市：稲留行政区 福岡県糟屋郡須恵町：ふれあいレインボー	
令和6年1月21日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草拓心高校)	24人
	岸川政之氏と天草拓心高校 SBP 部との意見交換	
令和6年3月19日	「第2回 まちづくり協議会」会議 (天草市役所)	-
	第3期天草市本渡地域まちづくり計画の年度評価について 防犯カメラの設置について	
令和6年4月1日	「Vol.32 まちづくり協議会だより発行」事業 (本渡地域配布)	-
	令和5年度 事業実績報告、各地区の話題などを掲載	

第46回 佐伊津町町内一周駅伝大会!

佐伊津地区振興会 会長 原田 康秀



令和6年1月21日(日)「町内一周駅伝大会」を開催しました。

今年で、46回を迎える伝統ある駅伝大会。朝から降っていた雨も大会前には止み、無事開催することが出来ました。地区の部は前大会より3チーム多い11チームが、オープンの部は2チームが参加し、町内を2周する全区間8.3kmのコースで行いました。全チーム104人の選手が8区間でタスキをつなぎ、町民の大きな声援の中優勝目指してチームのために力走してくれました。優勝は旭町区で躍進賞は松原区でした。次回も町全体で歴史ある駅伝大会を盛り上げて行きたいと思ひます。

餅つき & 高齢者訪問事業

宮地岳地区振興会 会長 中西 昭人

青少年部会で年末に餅つきを行いました。年末年始の行事を子ども達に体験させることも一つの目的でしたが、自分で作ったお餅を、地域の高齢者の方々にお正月用の鏡餅として配ることも大切な目的でした。保育園・小学校が無くなり地域から子ども達の歓声が消え、高齢者と子ども達の触れ合える時間も減り、言葉を交わすことも少なくなりました。そこで鏡餅と「1年間お世話になりました。よい年をお迎えください」の子どもからの手書きのメッセージを持参して子ども達と家庭訪問。



嬉しそうなお年寄りの皆さんの笑顔と、子ども達の照れた顔が印象的な時間となりました。人と人の触れ合いは大切な時間だと再認識しました。初めての試みでしたが、継続したい事業の一つとなりました。

本渡南大学の日帰り研修

本渡南地区振興会 会長 亀子 研二

本渡南大学の10月講座は、本渡南地区振興会主催の日帰り研修でした。今年度は山都町にある清和文楽館へ人形浄瑠璃の鑑賞へ向かいました。

当日の演目は「傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段」という親子の悲しい人形芝居でしたが、上演後に舞台前で出演者を囲んで記念写真に納まり、参加された皆さんは笑顔となりました。



女性部らくらく教室を実施しました

本渡北地区振興会 会長 丸田 光二



会員の皆さんが楽しく、気軽に活動に参加できるよう、まずは身の回りのことなどについて楽しく学んでいこうと年2回、「女性部らくらく教室」と銘打って講座を実施しています。その一つとして今回は塩麴を使った料理教室を実施しました。手の凝ったものではなく、時間もかからず、簡単ですぐにでも作れるような内容のものだったので、参加した皆さんからも、「家庭でもやってみよう」「勉強になった」などの声が聞かれました。今後も参加者の皆さんが楽しめるような内容を開催していけたらと思ひます。

令和5年度 第31回本町ふるさとまつり開催!!

本町地区振興会 会長 堀田 福男



11月23日(木)、4年ぶりに本町ふるさとまつりを開催しました。好天にも恵まれ大勢の方にご来町頂き、盛会の内に無事終了する事が出来ました。

鈴木神社の演芸場では奉納演芸が行われ、各団体やサークルさんの熱のこもったステージ発表が披露されました。また、コミセン一帯では、本町マルシェとして地域外の方にも出店していただき、まつりを大いに盛り上げていただきました。

これからも『笑顔の絶えない 元気で 住みやすい本町』を目指して頑張ります。



久しぶりの栢宇土町民大運動会!

栢宇土地区振興会 会長 平山 辰巳



コロナ禍で出来なかった町民大運動会を4年ぶりに開催しました。一人でも多くの町民の方に参加して頂こうと、体育推進部員が新種目を考案し、子ども達と70歳以上の高齢者との玉入れ対決や、高齢者に昔懐かしい昭和の運動会を思い出してもらおう種目などを取り入れ、昔取った杵柄でアップレでした。

また町民大運動会は、町民一同が会し、コミュニケーションを図る絶好の機会なので今後も種目内容、場所等も含め検討し盛り上げていきたいと思ひます。

楠浦町ふれあいフェスティバルを開催しました

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 清武



11月5日(日)に楠浦町ふれあいフェスティバルを開催しました。地域の方の作品、歴代の小学校卒業写真の展示。ステージでは、町民の方のカラオケ、稜南中学校吹奏楽部の演奏等がありました。

ステージの最後を締めて下さったのは、堀切唄保存会の皆さんで、楠浦町の伝統「楠浦の掘切り唄」を披露して下さいました。久しぶりに見た方、初めて見た方から、素晴らしいとお声をたくさんいただきました。

来年も町内外から多くの方に来ていただき、楽しめるイベントを企画することで、もっと楠浦町の良さを知ってもらいたいと思ひます。

やっと開催出来た! 下浦町ふるさと祭り!

下浦地区振興会 会長 川崎 宏

2月4日(日)に、下浦町ふるさと祭りを開催しました。この祭りは「獅子が舞う石工・ポンカンの里」をテーマに、下浦町の特産と活気ある町をPRするため行っており、今回で29回目となります。沢山の関係者の協力もあり、この度4年ぶりに開催することが出来ました。

幸いにも雨の切れ間を縫うように前日準備・当日と天気に恵まれ、会場の状態も最悪とまではならず安心しました。更に10時頃より来客数も増え始め、くまモンのステージ、ポンカン高積大会、進藤久明さんのLIVEと盛り上がり、1回目の餅投げには多くのお客さんで盛り上がり、石の作品展示・石玉ボウリング、テント村の各出店も盛況だったようで、食べ物も完売が多くありました。

午後からはポンカンの表彰式、町民芸能SHOWを経て、天草市役所牛深ハイヤ部の演奏、最後に2回目の餅投げを行い無事祭りは終了しました。

これを機に、来年度の30回がより盛大になる事を願ひます。



子ども教育研修旅行に行ってきました。

志柿地区振興会 会長 有江 浩三

今回、「子どもニュースポーツ体験会、の代替事業として実施した子ども教育研修旅行、に、小中学生合わせて15人の参加がありました。長崎県の島原半島を日帰りの日程で訪問し、午前中は「がまだすドーム、館内の見学やドーム職員の方のお話、火山噴火実験などを通して災害の脅威と復興への歩み、そして人々の生活と自然のかかわりを学ぶことができました。また、午後からは「雲仙地獄、めぐりをしました。清七地獄、雀地獄、お糸地獄などを見学し、普段とは違う自然を感じることで子ども達もとても勉強になったようでした。



すべての事業が復活し大忙しの賑やかな1年になりました

亀場地区振興会 会長 井上 数馬



新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、3年間の行事自粛期間を経て、会長の「このままでは地域の文化が途絶えてしまう」という危機感から、令和5年度からはすべての事業を決行しようという強い意志の下、以下の主な事業を中心に、やっと振興会活動が再開し始めた年になりました。

4月の「戦没者追悼式」、6月の「ウォークラリー」7月の「総合球技大会」7月の「亀っ子七夕会」9月の「敬老会」10月の「町民体育大会」11月の「ふるさとまつり」12月の「亀っ子クリスマス会」2月の「ミニバレーボール大会」「亀っ子おひなさま会」等々。スタッフも交替わりし、どの事業も4、5年前の資料を引っ張り出し、あれやこれやと掘り起こし準備を進めていき、何とか治めた1年でした。「継続こそが力なり」のとおり、滞ることなく、新たな年度へと進んでいきたいと思ひます。